

第3学年C組 国語科学習指導案

授業者 大塚 悠 希

1 単元名・教材名

- 『握手』を批判的に読む～感想をアップグレードしよう～
○「握手」井上ひさし(『国語3』光村図書)

2 生徒の実態と本単元の意図

(1) 本単元に至るまでの指導の系統

育成すべき国語の能力 〔思考力, 判断力, 表現力等〕	学習内容	単元・教材名 〈実施時期〉	学習活動と関連する 他領域等の指導
<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。 (中2C(1)イ) ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。 (中2C(1)エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言葉や行動と話の展開の関係 ・表現の効果 ・文章の構成 ・論理の展開 	「盆土産」 〈2年9月〉 「走れメロス」 〈2年2月〉	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 〔知識及び技能〕中2(1)エ

(2) 生徒の実態と本単元の意図

本学級の生徒は、これまで多くの文学的文章と向き合い、学習に取り組んできた。2年時の『走れメロス』では、初めて読んだ感想を交流し、自分たちの疑問や注目したところについて発表し合い、課題を見つけ、課題解決のために学習活動を行った。その中で、登場人物の言動の意味や描写の意図、作者の人物像を踏まえた上で、作品にはどのような魅力があるのかを考えることができた。

一方で、話し合い活動の様子を見てみると、「この人物は登場しなくても物語に影響しないのではないか。」「この段落は、主題を伝えるうえで必要ないだろう。」といったように文章の一部分に注目した読みをする生徒が散見される。

第3学年では、「文章を批判的に読」むことや、「文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること」が求められている。しかし、批判したり評価したりするためには文章を対象化したり、文章全体の構成を見たりすることが必要であると考えられる。

そこで、前単元の『作られた「物語」を超えて』では、「批判的に読むとはどういうことだろう」という課題を解決するために学習活動を行った。文章全体を対象化し、段落同士の関係や論理の展開について考えることができた。そして、単元のまとめでは「批判的に読むこと」という抽象度の高い形でまとめを行い、他の教材を読むときにも汎用可能な資質・能力となるように授業を行った。『作られた「物語」を超えて』は、説明的文章ではあるものの、文章で読むために必要な資質・能力として、文学的文章を読む際にも活用できると考える。

これらを踏まえ、本単元はその資質・能力が生徒にとって活用可能であると実感できるような場となるようにしたいと考える。単元名にある「アップグレード」には、「今よりよくなること」や「機能を越える」といった意味がある。コンピュータの分野では、より新しいものに変えることや大幅な機能の向上や不具合の修正をすることとされている。似た言葉で「アップデート」があるが、こちらは「古いものを更新する」という意味があり、比較すると、「大きな作り替えを行う」という点が異なっている。2つの言葉の差を踏まえ、ここでは物語を「共感的」に読むことに加え、描写や物語の展開の意味などに着目しながら考えたり、登場人物と自分との考え方の違いについて確認したりするなどして、「分析的」に物語を読むことへと生徒の読みを深化させることをねらいとしたい。分析的に読むためには、登場人物の行動や物語の展開の意味などを考えたり、登場人物と自分との考え方の違いを確認したりするなど、批判的に読む力が必要であると考え、その資質・能力を身に付けさせるために、本単元を設定した。

(3) 「挑戦心を高め、思考を深める協働的な学びのデザイン」に関連して

【手立て1】 困難に向き合い、試行錯誤するなどの挑戦する学びの場面の設計

総論にもあるように、挑戦する学びの場を設計するためには、自ら課題を立て、主体的に学び方を選択できる場を設けることが必要不可欠である。本単元では、批判的に読むためにどのようなテ

ーマを設定するか考えたり、設定したテーマを考える際にどのような答えが出されるか、見通しをもったりすることが必要である。そこで、既習事項を確認し、批判的な読みに必要な資質・能力を確認し、それを踏まえて、一人一人が観点をもって課題を設定できるよう授業を行っていく。

【手立て2】生徒自らの「挑戦心」の意識化

学習指導要領では、各学年の目標及び内容の系統表が記載されていることから、授業者は各指導事項がどのように関連しているかを把握しながら、授業を行っていく必要があることがわかる。これは、授業を受ける生徒にとっても欠かすことができない。既習事項が次に学ぶ資質・能力にどのような関わりがあるのかを踏まえながら、学習を行っていくことで、生徒はより有機的に関連付けながら資質・能力を身に付けることができるのではないかと考えた。第3学年では、昨年度より領域ごとの振り返り（モニタリングシート）を実施している。これまでにどのような学習を行い、どのような資質・能力を身に付けたのかを領域ごとに振り返ることで、生徒自らが意識的に学習をすることができると考えた。加えて、試行錯誤の場面や失敗の経験もメタ的に認知することができれば、挑戦心の育成にもつながると考え、継続的に実施している。

3 単元の目標

- (1) 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 (知識及び技能) (1)イ
- (2) 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 (思考力, 判断力, 表現力等) C(1)イ
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 (学びに向かう力, 人間性等)

4 本単元における言語活動

小説を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。(関連：言語活動例イ)

5 本単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (2)ア	①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 (C(1)イ)	①粘り強く文章を批判的に読みながら、学習の見通しをもって、文章に表れたものの見方や考え方について自分の考えを伝え合っている。

6 指導と評価の計画 (全5時間) (…「挑戦心を高め、思考を深める協働的な学びのデザイン」を特に意図した場面)

時	主な学習活動	学習内容	評価規準・評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> ○「握手」を通読する。 ○初発の感想を書く。 <p>生徒の記述例 ルロイ修道士は自身が死ぬ直前まで、子どもたちの心配をされていて、大きな愛をもった人だと感じた。また、主人公もルロイ修道士のことを気づかい、言葉を選んでいて、人同士の温かさを感じる作品だと思う。 最後に主人公が両手の人差し指を交差させ、せわしく打ち付けていたが、なぜそのような行動をしたのが、疑問に思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○疑問点やわからなかったところを記録し、共有する。 <p>生徒の発言例 【登場人物に関すること】 ・主人公が無断で天使園を抜け出したときの費用を捻出した方法について、当時伝えたのにも関わらず、「もう一度教えてくれませんか。」と言ったのはなぜか。 ・主人公が楽しかったことを聞いたのはなぜか。 ・修道士なのに、「そう怖くはありませんよ。」「あると信じるほうがたのしいでしょうが。」といったのはなぜか。神様を本当に信じているわけではないのか。 【物語の展開に関すること】 ・天使園とはどのような施設なのか。現代にもあるのか。 ・この作品を書いたのはどのような意図があるのか。最も伝えたいことはなにか。 ・指言葉が多く使われているのに、なぜタイトルが「握手」なのか。</p>		<p>本時は、生徒の日常の読みに近づけながら課題を見つける活動を行うことから、本単元の評価には含めない。</p>

<p>② 本時 ・ 3</p>	<p>○学習のねらいや進め方をつかみ、学習の見直しをもつ。 ○<u>アップグレードするためにはどのような観点が必要かを検討する。</u> ○疑問点やわからなかったところから考えを深めたいところについて検討し、全体で共有する。 ○<u>共有した内容から、自身が深めたいことを選択し、課題を設定する。</u> ○課題に沿って描写について考え、読み深める。 ○調べたことを踏まえて、登場人物と自分の考え方の違いなどについて、まとめる。</p>	<p>○文学的文章を読むためのポイント ○批判的な読み方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動 ・物語の展開 ・登場人物と自分の考えの比較 ・場面と場面、描写と場面の関係 ・表現の効果 ・主題　・作品の象徴 ・作者 <p>○文章に表れているものの見方や考え方の考え方</p>	<p>【思考・判断・表現①】 <u>観察・ノート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、初発の感想を踏まえながら、登場人物の行動や物語の展開の意味を考えたり、登場人物と自分との考え方の違いを確認したりするなど、文章を批判的に読むことができているか確認する。 <p>(「努力を要する状況 (C) への手立て」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題設定において戸惑っている生徒には、自身の初発の感想を確認させ、どのような感想をもったのか、感想を深めるためにはどのような観点が必要なのかを踏まえて、課題を設定するように指導する。 ・読みを深める活動で課題がある生徒には、既習事項を確認させ、必要な観点を提示し、観点を絞って活動ができるように指導する。
<p>4</p>	<p>○自分の考えをネットワーク上に投稿する。 ○投稿された友だちの考えを読む。 ○返信機能を使い、友だちの考えに対しての感想や意見を記入する。</p>	<p>○文章中での語句の使われ方 ○辞書的な意味と文脈上の意味の関係</p>	<p>【知識・技能①】 <u>文書作成ソフトのデータ</u> <u>コラボレーションアプリ上の記述</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、今まで身に付けてきた多様な語句を振り返りつつ、文章中でどのようにしようされているかを踏まえながら、自分の考えをまとめているか確認する。 <p>(「努力を要する状況 (C) への手立て」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章中でその語句がどのように使われているか、その語句があることによってどのような効果が文章全体に出てくるかを確認するように指導する。
<p>5</p>	<p>○コメントを踏まえて、自分の考えを再度まとめる。</p>	<p>○文章に表れているものの見方や考え方</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度①】 <u>ノート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、第1時に記入した留意点・課題点を踏まえ、自分なりのポイントを記述できているか確認する。 <p>(「努力を要する状況 (C) への手立て」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを見たときのポイントについて、どのような点がよくなったのかを考えるように指導する。
<p>生徒の交流の例</p> <p>A：ルロイ修道士が主人公との会話の中で、「もう一度教えてくださいませんか。」と発言しているところに注目して、この世のいとまごいの一つとして聞いているのだと思うと、作品のさみしさをより感じられると思いました。</p> <p>B：思い出話が楽しいから、「ただしあの頃と違って、顔は笑っていた。」という描写につながるということですね。これも伏線の一つになっていますね。</p> <p>A：ほかにルロイ修道士の描写として、「そう怖くはありませんよ。」という発言も気になりました。修道士なのに、なぜそう発言したのでしょうか。</p>		<p>○<u>文学的文章を批判的に読むときに必要なこととよさについて触れながら、単元の振り返りをする。</u></p> <p>○学びの自覚化</p> <p>振り返りの例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観点を明確にしなが、文章を読み直すことで、文学的文章をより読み深めることができました。「修道士」という分かりやすい言葉で人物が表現されていても、細かな描写に注目すると、それだけではない人物像について考えを深めることもできました。また、前単元でも学習したが、批判的に読むことは、ただ作品を否定したり、悪いところを見つけたりするのではなく、文章全体を捉えながら読み深め、楽しむことができる読み方なのではないかと感じた。 	

7 本時の学習指導 (2/5)

(1) 目標

- ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができ (思考力, 判断力, 表現力等) C(1)イ

(2) 展開

【前時の学習活動】※感想と疑問点の共有		
学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
<p>1 前時の学習を振り返り、本時の課題を確認する。【全体】</p> <p>本時のねらい</p> <p>感想をアップグレードするためのテーマを考えよう。</p>		<p>○「アップグレード」という言葉の共通認識を図る。</p>
<p>アップグレードとは 今よりよくなることや機能を越えること。似た印象をもつ言葉として「アップデート」があるが、こちらは、古いものを更新することを意味しており、大きな作り変えをするという点で差がある。</p>		
<p>2 既習事項を確認する。</p> <p>3 アップグレードするためにはどのような観点が必要かを検討する。【グループ】</p>	<p>文学的文章を読むためのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定 ・描写 ・登場人物の人柄や人物像 ・語り手 ・場面の構成や展開 ・表現の効果や語句の用い方 <p>○批判的な読み方の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動 ・物語の展開 ・登場人物と自分の考えの比較 ・場面と場面、描写と場面の関係 ・表現の効果 ・主題 ・作品の象徴 ・作者 	<p>○文学的文章を読むときの既習事項や前単元で行った批判的に読むためのポイントを想起させ、テーマ設定を考えるときにテーマが大きくずれないように留意する。</p> <p>○モニタリングシートを見直し、これまでの学習のつながりを意識する。</p>
<p>生徒の発言例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・批判的に読むために、前の単元では形式段落に小見出しをつけた。そうすることで、文章全体を見られるようになり、段落の役割や文章全体にどのような影響があるのかを見ることができた。だから、文章全体を捉えながら、読むことで主題や作者の意図について考えられるのではないかな。 ・「走れメロス」では、太宰治の生活や考えてきたことを踏まえながら読むことで、新しい発見をすることができた。今回の作品でも作者に注目することで、作品に込められた思いを読み深めることができるのではないかな。 		
<p>4 疑問点やわからなかったところから考えを深めたいところについて検討し、共有する。【グループ→全体】</p>	<p>期待したい生徒の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルロイ修道士の行動 ・主人公の行動 ・作者の意図や考え ・物語の展開の工夫 ・「握手」というタイトルの疑問 ・作品の主題 ・作品内の似た表現の違い ・登場人物と自身との考え方の違い ・「葉桜」の印象的な描かれ方 	<p>○課題を設定する際に、仮説を考えさせ、見通しをもつように指導するとともに、その課題を深めるためにどのような要素が必要かを考えさせる。</p> <p>○設定したテーマを提出させ、教師がグルーピングし、次時の協働的な学びにつなげる。</p>
<p>5 共有した内容から、自身が深めたいことを選択し、課題を設定する。【個人】</p>	<p>期待したい探究テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルロイの行動は修道士としてのものだったか ・登場人物の人柄～手の描写に注目して～ ・作品の温かさはどの描写から感じるのだろうか ・三回の握手に込められた思いの比較 ・登場人物の思い～自分自身と比較しながら考える～ 	
<p>6 課題をグループで検討する。</p>	<p>○課題の設定の仕方</p> <p>仮説を確認し、見通しをもてるようなアドバイスを行っている。</p>	<p>評価規準</p> <p>【思考・判断・表現①】</p> <p>観察・ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、初発の感想を踏まえながら、登場人物の行動や物語の展開の意味を考えたり、登場人物と自分との考え方の違いを確認したりするなど、文章を批判的に読むことができていますか確認する。 <p>〈「努力を要する状況(C)への手立て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題設定において戸惑っている生徒には、自身の初発の感想を確認させ、どのような感想をもったのか、感想を深めるためにはどのような観点が必要なのかを踏まえて、課題を設定するように指導する。
<p>話し合いの様子</p> <p>A:「ルロイの行動は修道士としてのものだったか」というテーマだけど、どのような答えが出るかと考えている？」</p> <p>B:「本文中に「一人一人の人間がいる、それだけのことでですから。」という発言があるから、神よりも「人」と向き合っているといった答えが出るかなと思っているんだ。</p> <p>C:「そうなると天国について聞かれたときに、「あると信じるほうがたのしいでしょう」と発言しているのも気になるね。修道士としての発言としては違和感があるかな。」</p> <p>B:「なるほど。描写に注目していただくだけでなく、キリスト教の修道士についても確認したほうがいいかもしれないな。」……</p>		
<p>7 本時の振り返りをす。【個人】</p>	<p>話し合い活動の中で、読みを深める方法について新たな要素について考えを深めている。</p>	
<p>期待したい生徒の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルロイ修道士の行動描写に注目するといろいろな疑問が出てきた。行動描写に注目しながら、その理由を考え、批判的に読んでいきたい。 ・指言葉に注目すると、また異なる読みができそうな気がした。タイトルも含めて、手の描写に注目して読んでいきたい。 		
<p>【次時の学習内容】○文学的文章の批判的な読み方</p>		